

北朝鮮における言語政策

——「第2次金日成教示」の全文翻訳——

文 嬉 眞

最近、筆者は「韓国と北朝鮮の言語の異質化」の問題を一つの研究テーマとして設定し、その研究を進めてきている。今までの筆者の研究成果によれば、朝鮮半島における南北両側では、各々独自の「言語政策」を打ち出すことによって、同一言語の異質化の問題が進行していることが確認できる。特に、南北両域間の言語・文字政策⁽¹⁾の根本的な相違点としては、韓国の場合、一般民衆の使用言語の変化により政府の言語政策が成り立っている（言語の変遷が先・国の政策が後）反面、北朝鮮の場合、先に国が言語政策を策定し、その後に人民に言葉の修正を求める（国の政策策定が先・言語の修正が後）方法をとっていることが確認できる。そのことは、南北両域の間では概ね正反対の言語政策が採られていることを物語っている。

北朝鮮におけるそのような作爲的な言語政策は、特に1964年1月3日第「1次教示」（前号に掲載済み⁽²⁾）と1966年5月14日「第2次教示」の二度にわたる金日成の教示⁽³⁾に基づくものであった。それは、北朝鮮における絶対的な権威であり統治者でもある金日成の一言によって、国家の言語政策に関する一定の方向性が決定付けられることをも意味している。さらにそれは、南北間の言語の異質化を益々加速化させる主要な原因ともなっている。それと同時に、彼の政治的な言説は、南北両側の言

語の異質化の基本的な要因ともなったのである。金日成の死亡後、彼の後継者である金正日は、そのような先代の言語政策の多くを継承しつつ、それを指導したといわれている。上述のような北朝鮮の言語体制をキム・ミンス⁽⁴⁾は、「金日成が創始し、金正日がその主体主義（思想）を言語に適用・発展させた（括弧内は引用者）」と主張している。

前稿で紹介している金日成の「第1次教示」は、1964年1月3日の北朝鮮の言語学者との懇談会の際に、「朝鮮語を発展させるためのいくつかの問題」というテーマで発表されたものであり、その全文は、『文化語学習』1968年2号に掲載されている。そして、本稿で紹介する「第2次教示」は、1966年5月14日の言語学者との懇談会の際に、「朝鮮語の民族的特性を正しく活かすことについて」というテーマで発表されたものであり、その全文は、『文化語学習』1969年3号に掲載されている。上記のような二つの教示では、主に北朝鮮語に対する多くの問題点と、その問題解決の方向性に対しての指南の役割を果たしている。それと同時に、北朝鮮におけるそれ以降の学際上の言語学に関する言語の諸問題は、上記のような二つの金日成教示に依拠して、全ての言語問題の方向が定められ、その解決方法を模索する指標となっている。

この「第1次教示」と「第2次教示」には、当時の最高権力者である金日成の主導による北朝鮮の言語観の確立や言語政策、言語学の細部項目等々の方向が提示されていた⁽⁵⁾。そのために、上述のような二つの教示は、それ以降の北朝鮮の言語政策の枠となっていく。その点で言えば、二つの教示は、韓国と北朝鮮との両側の、そもそも同一言語である一つの言語が「言語の異質化」の道を辿る過程を比較分析する上で最も重要な資料となっている。また北朝鮮の言語政策の変遷過程や言語政策それ自体の分析を行うためにも、金日成による二つの教示は、非常に重要な一次資料的な性格を帯びている。

本稿では、既述のような北朝鮮の言語を研究する上で、重要な一次資

料の提供という側面を考え、既に前稿で紹介している「第1次金日成教示」の全文翻訳に引き続き、「第2次金日成教示」の全文を翻訳し、前稿と同様に、その原文も全文掲載することにする。これを翻訳する理由としては、第一に、最近日本では朝鮮半島における政治動向や文化レベルおよびそのほか諸々の事象に対する関心が急速に高まっている研究状況がある。そのような研究状況の中で、隣国である韓国と北朝鮮の言語文化的な動向の一つである言語の異質化に対する関心が高まってきている点と相まって、本稿は北朝鮮の言語政策に関する研究状況への助力を目的として第1次的な資料を提供する側面がある。

第二に、上記のような諸々の状況の下で、日本の国内外における南北両国の言語事情やその変遷・変化に関心を持っている言語学者らにとって見れば、以下の原文や訳文の提供は一定の研究状況を改善する手助けとなると判断されるためである。その上、以下に提供された資料に基づき、南北両域の言語研究が活発に行われ、現在のような同分野における研究状況の空白が埋められることが期待できる。その作業を進めるに当たって、前稿で触れている通り、今回は「第2次金日成教示」の全文の翻訳および原文を掲載することとする。

次に、原文を翻訳する上での留意点は以下のとおりである。

- ・文中の語彙はできる限り意識をせず、原文に沿って忠実に翻訳するように努める。
- ・日本語にない表現または日本語で表現できないものは意識する。
- ・原文にはない読点は、日本語訳の便宜上、読点を付け、また原文にある読点をとることもある。
- ・朝鮮語で疑問文に用いる疑問符(?)は、日本語の訳文では使用しない。
- ・漢字語の場合、現在日本では不適切な表現とされるものでも原文のままの漢字語に置き換える。

- ・朝鮮語の固有語と漢字語の違いを表すために使用した単語の場合、日本語の訳文は同一語彙になるが、朝鮮語では異なるので朝鮮語の表記も行う。
- ・日本語の訳文には現在、日本の常用漢字の字体を使用する。朝鮮語で使われる漢字は使用しない。
- ・原文中の《 》の語彙は訳文中でも《 》を付け、朝鮮語も付け加えて表記する。

〈「第2次金日成教示」訳文〉

「朝鮮語の民族的特性を正しく活かすことについて」

言語学者との談話

1966年5月14日

今日、私は同志らに我が民族語をさらに発展させることについて少し話そうと思います。この問題に対してはこの前にも既に話したことがありましたが、もう一度強調しようと思います。

我々が常に話題にしていることですが、我が国は中国、日本、ソ連のような科学技術が比較的発展した大国の間にあります。そのために、過去の我が国の人々の間にこれらの国に対する事大主義が生まれ、これらの国との政治的な接触と経済文化的交流の過程でこれらの国の言葉が我が国に少なからず、入ってきました。

李朝（李氏朝鮮）の封建時代には中国に対する事大主義が深まり、その国の言葉がかなり入ってきました。それによって、今も我が国の人々が中国式の漢字語をたくさん使っています。ある時のことですが、塩の畑（塩田）に行ってみると、そこで使われる言葉はその殆どが中国式の言葉だったのです。科学技術用語だけでなく、常に使用している言葉の中にも中国式の表現が多いのです。今日、我が国の労働者が《働く時間

《일하는시간》という言葉を《仕事期間 (사업기간)》、《勤務時間 (공작시간)》といい、《昼寝 (낮잠)》を《午寝 (오침)》というのがその典型的な実例となっています。(括弧内は訳者、以下同様)

私は以前、中国の広東に行った時に演劇を見たことがありましたが、演劇に出る人が話す漢字音が我が国の人々が使う漢字音と似ていました。だから、我が漢字音の多くが中国の広東地方の漢字音のようなものから入って来たといえます。

過去、日帝(日本帝国主義、以下日帝)の者たちが我が国を強(制)占(有)した後には日本語もたくさん入ってきました。そのため、今日我々が使っている言葉の中には直すべき日本式の言葉が少なからずあるのです。林檎の名前も日本語で呼ぶことも多いです。今、我が国の人々が《国光 (국광)》と呼んでいる林檎の名前は日本人がつけたものです。元来、その林檎が日本から来たものでもないのに、このように日本名がついています。《国光 (국광)》だけでなく、《旭 (욱)》や《祝 (축)》と同じような林檎の名前も日本人がつけたものです。

事情は稲の名前でも同じです。現在、人々は《陸羽132号 (륙우 132 호)》だ、《中生銀坊主 (중생은방주)⁽⁶⁾》だといいながら、日本人がつけた名前と呼んでいるのです。

その上、日帝時代には生まれていなかった我が子どもたちまでも《洋服の上着 (양복저고리)》を《ウワギ (우와기)》といい、飲む《茶 (차)》を《オチャ (오차)》といい、茶の器を置く《茶盆 (차반)》を《オボン (오봉)⁽⁷⁾》といいます。

開放された後では露語が入ってきましたが、我々の言葉に混入するのを食い止めました。

しかし、今日また我が国に純粋な朝鮮語ではない中国の間島地方に住んでいる朝鮮人たちが使う中国式の朝鮮語も入ってくる傍ら、解放後の南朝鮮人が使う朝鮮語に英語と日本語と漢字語がごっちゃ混ぜこぜにな

った言葉も入ってきており、帰国同胞を通して日本で住んでいる朝鮮人が使う日本式の朝鮮語も入ってきています。

今、中国の延辺や北間島に住んでいる朝鮮人は《停留場（정거장）》を《火車站（화차참）》といい、《労働階級（로동계급）》を《工人階級（공인계급）》と言い直したり、その他に我々が知らない中国式の朝鮮語を作って使っています。間島には朝鮮人が約100万人いますが、彼らが使っている言葉が入ってくることは大きな問題ではありません。

帰国同胞を通じて入ってくる日本語も大きな問題になることはありません。

問題は南朝鮮で使っている言葉にあります。今日、南朝鮮新聞のようなものを見ると、英語や日本語を混ぜて使うことはいうまでもなく、漢字語は中国人も使わないものまで無闇に使っています。実際に南朝鮮で使っている言葉の中で漢字語と日本語、英語を除くと、我々の言葉は《을（을）》、《을（을）》のような助詞だけ残る状況となるのです。言語は民族の重要な象徴の一つであるにも拘らず、南朝鮮で使っている言葉がこのように西洋語化、日本語化、漢字語化になってしまうと我々の言葉ではなくなり、我々の言葉の民族的特性が徐々になくなっていきます。これは本当に危険なことです。これをこのままにしておくことは我が民族語がなくなる危険もあるということです。

先日、ある日本共産党の幹部と話した時、日本語も今、他の国の言葉と混ざっていると聞きました。彼によれば、日本では科学が発展しているが、自己民族のものは殆どなく、米国化されており、科学自体が商売人の金儲けに利用されているそうです。言わば、今日の日本の科学は真の科学でないということです。

日本人が科学発展においてこのように米国を手本にして真似ているから英語がたくさん入ってきて混ざり、日本語が英語化されているといえます。

真の愛国者は共産主義者です。専ら共産主義者だけが自国の国の言葉を本当に愛し、発展させるために力を尽くします。

共産主義者である我々は我々の言葉の民族的特性を活かし、それを更に発展させなければなりません。共産主義者でなくても民族的な良心を持った朝鮮人は全て、我々の言葉の民族的な特性がなくなっていくことを望む人は一人もいないでしょう。南朝鮮でも地主、買弁資本家、反動官僚の輩を除く絶対多数の人民大衆は我が民族を愛し、我が祖国を愛する愛国主義思想をもった人々です。したがって、彼らは皆我が民族語の発展を望むでしょう。

我々は漢字語と外来語を固有な我々の言葉に直して、我々の言葉を体系的に発展させて行かなければなりません。

固有語と漢字語の意味が同じ時には固有語を使い、漢字語を使わないようにして辞典からもそのような漢字語は取り除かなければなりません。例えば、《桑田 (상전)》、《石橋 (석교)》のような漢字語は棄てて《桑畑 (쌍밭)》、《石の橋 (돌다리)》という我々の言葉を使わなければなりません。人民たちの中で比較的によく使われている漢字語でもそれに見合う固有語があれば、辞典からも取り除いて固有語を使うようにしなければなりません。例えば、《夏服 (하복)》という言葉は比較的よく使われているけれども、《夏の服 (여름옷)》と使うことができるからには辞典から除かなければなりません。このようなものまで整えると、余りにもたくさん直すという意見があるかもしれませんが、そのようにしなければ、漢字語を徐々に減らすことができず、固有語を発展させることができません。仮にこれから辞典から取り除いた言葉の中で人民が引き続いて使うものがあれば、それはその時に再び辞典に戻せばいいでしょう。

方言でもよいものを探し出して使わなければなりません。過去、我々がパルチザン闘争をした時に安吉同志は一般的に咸鏡道文化がソウル文化より劣っているというが、咸鏡道には朝鮮語(の表現)がより多く残

っているといい、咸鏡道では《汽車(기차)》を《火の車(불술기)》というが、それの方がよいのではないかといいました。それで、私は彼に咸鏡道にはその代わりに《マッチ(비지꺼)》や《ポケット(저르만)》のような外来語があるのではないかと冗談を言ったことがあります。

《火の車(불술기)》という言葉の方がどんなにいいでしょう。勿論、今から《汽車(기차)》を《火の車(불술기)》と直す必要はありませんが、我々が方言を上手く調査してみると、今でも使えるよい我々の言葉があるでしょう。

固有語を積極的に探して故郷の名前も我々の言葉で呼ぶようにしなければなりません。我々の言葉で呼ぶ方が漢字語で呼ぶよりもっと上品です。例えば、《赤い岩(붉은바위)》を《赤岩(적암)》といういい方のような漢字語に替えて置かならば、より良くなるのではなく、むしろつまらないものになります。現在、故郷の名前を漢字語と固有語の二通りで呼んでいるものが少なくありません。《石の橋の村(돌다리골)》を《石橋村(석교동)》という呼び方がその実例です。固有語でできている故郷の名前を全部調査してできるだけ漢字語を使わないようにしなければなりません。我々が既に社会科学院に故郷の名前の調査を頼んでおきましたが、その事業がどのようになっているのか分かりません。これから固有語で呼ばれる故郷の名前を全部調査すれば、そのまま使うようにし、地図ももう一度刷ればいいです。行政区域の名前も内閣の決定で直すようにすればいいです。

我々は既にある固有語を探し出して使うだけでなく、固有語で新しい言葉を作り出して使わなければなりません。

勿論、新しい言葉を始めて使うには少し不自然です。しかし、それも何度も使っていけば大丈夫です。漢字語ではあるが、《最高人民會議(최고인민회의)》という言葉に対する実例を挙げてみます。我々が始めてこの言葉を作った時、ある人は他の国では《国会(국회)》と書いてい

るので、固定機関の名前を《議会 (의회)》ということではできないと主張しました。しかし、我々はこのことを聞き入れずに《最高人民会議 (최고인민회의)》と使い始めました。始めはそのような呼び方が不自然なように思いましたが、何度も利用すると今では違和感は全くありません。他の言葉も必要ならば、このように新しく作ればいいのです。

私の考えでは《国光 (국광)》や《旭 (욱)》、《祝 (축)》のような名前もその林檎が生産される故郷の名前を抜き取って作ることがいいでしょう。その林檎がどこで一番たくさん生産され、どれが一番美味しいのかを酌量して《北青 (북청)》や《松禾 (송화)》ということもでき、または《南浦 (남포)》や《龍岡 (룡강)》と呼ぶこともできるでしょう。

我々は稲の名前も全部我々の言葉に直さなければなりません。

現在、ある同志は林檎や稲のようなものは今まで呼んでいた名前に慣れているために、それを他の名前に直し難いというのが、躊躇せずに大胆に直さなければなりません。そのようなものさえも日本語の名前のままにして、後代に説明ができるでしょうか。今日、南朝鮮で日本式の漢字語を全てそのまま使っている状況であるため、我々まで黙っていると、我々の言葉は本当になくなってしまいます。我々は日本式の漢字語を大胆に直さなければなりません。

以前、我が祖先は事大主義の病に罹り、人の名前さえも漢字語でつけました。これから、子どもの名前はできるだけ固有語でつけた方がいいと思います。

他の国との科学文化交流を通して新たに入ってくる外来語は我々の言葉で丁度よい時に直さなければなりません。どんな国でも科学技術が先に進んだ国に従うようになっています。そうする内に発展した国の言葉が入ってきて外来語が生まれます。しかし、外来語も最初に入ってくる時に自国の言葉に直せばいいと思います。我が国に《ヨークシャ種 (대백종)》と《シベリア北部種 (씨비리북부종)》というソ連の種豚が入っ

てきて《中華在来種 (중화재래종)》と交雑して新しい種豚を作った時、我々はそれを《平壤種 (평양종)》としましたが、それがどんなに呼び易いものでしょうか。他のものもこのように我々の言葉に直せばいいと思います。

ところが、学術用語はあまり碎いて書かない方がいいのです。新しく生まれる言葉に対しては国語査定委員会で上手く統制しなければなりません。漢字語と外来語を直すとしても、一律的に直さない方がいいです。漢字語といっても人々に確固として認識され、我々の言葉に完全に固まったものはそのままにしておいた方がいいです。例えば、《学校 (학교)》、《部屋 (방)》のようなものは漢字語として見なくてもよいのであって、したがってそれらの言葉は直さなくてもいいです。今日、頻繁に使われる《法則 (법칙)》という言葉を見てみても直ちに直して使う妥当な言葉がありません。《坑道 (갱도)》という言葉も同じことです。社会科学や自然科学にはこのような言葉が多いので、それらを直すことが問題です。

そして、漢字語と固有語の意味が同じでも意味合いの幅が必ず同じでないものは充分考慮しなければなりません。例えば、《地下 (지하)》と《土の中 (땅속)》、《心臓 (심장)》と《念桶 (염통¹⁰)》は意味が同じでもその幅が異なるため、漢字語と固有語をそのままにしておくしかありません。仮に《地下闘争 (지하투쟁)》という言葉をも《土の中の闘争 (땅속투쟁)》と直すことや、《平壤は私の心臓 (평양은 나의 심장)》という言葉をも《平壤は私の念桶 (평양은 나의 염통)》と直そうとしてはいけません。このような漢字語までなくしてしまうと、我々の言語生活に大きな混乱が起きることになります。したがって、固有語と漢字語の意味が同じだといっても具体的な時と場合によってお互いに異なった処理をしなければなりません。

軍事用語は直すことができます。解放された後で我々が幾つかの軍事

用語を直しました。《気を付け (차렷)》も我々が作った言葉です。その前に使っていた《気配 (기척)》は日本語で、独立軍も東北 (満州地域) でこの言葉を使っていました。洪範圖 (홍범도)⁽¹¹⁾ もそうであったし李範奭 (리범식)⁽¹²⁾ も軍官学校でこの言葉で学生を教えました。だから、我々は《気配 (기척)》を《気を付け (차렷)》に直しました。元来、号令は最後の音に力がなければなりません。解放後、我々は旧韓国の時と日帝の時に使っていた号令を全て直そうとしたが、そのまま見過ごしてしまいました。現在、軍隊で使う言葉には漢字語が少なくありません。

《防毒面 (방독면)》も漢字語であり、点数をつけるときに使う《優 (우)》、《良 (량)》も全て漢字語です。世界共通の軍事用語であるなら仕方ないけれど、そうでないものは我々の言葉で使わなければなりません。軍事技術用語も世界共通なものを除いておいてから、我々の言葉で使わなければなりません。

言葉を整える際に単語の結合関係を考慮しなければならないこともあります。《日気 (일기)》という言葉为例に挙げて見ます。我々がただ《日気 (일기)》という時には《天気 (날씨)》と使うことができるから、それをなくすことができますが、《日気予報 (일기예보)》のような単語の結合を考慮する時には《日気 (일기)》という言葉もそのままにしておかなければなりません。

我々の言葉を発展させるためには基礎を上手く固めておかなければなりません。我々は我が革命の参謀部があり、政治、経済、文化、軍事の全ての方面に渡る我が革命の全般的戦略と戦術が立てられる革命の首都であり、揺籃の地である平壤を中心地にし、平壤の言葉を基準にして言語の民族的特性を保存し、発展させていかなければなりません。そこで、《標準語 (표준어)》という言葉は他の言葉に替えなければなりません。《標準語 (표준어)》といえば、まるでソウルの言葉を基準にしているものとして誤って理解されることもあるので、そのまま使う必要はありません。

ん。社会主義を建設している我々が革命の首都である平壤の言葉を基準にして発展させた我々の言葉を《標準語 (표준어)》と言わずに、他の名称で呼ぶことが正しいのです。

《文化語 (문화어)》という言葉もあまりいいものではありませんが、それでも文化語に直して使うことがいいです。

次に、我々の言葉をよりよく磨き上げるためには新聞に載せて紙上討論をさせなければなりません。言語学も大衆の評価を受けなければなりません。学術用語のようなものも新聞に一週間に二、三回ぐらい掲載しなければならず、磨き上げた言葉を一度に十五個ずつ新聞に載せて大衆が評論も書くようにし、質問も出させるようにしなければなりません。磨き上げた言葉は中央の新聞にも掲載し、地方新聞にも載せて、それに反対する意見も全て知らせなければなりません。紙上討論では提起される意見も全部公開し、多くの人々の知恵を動員するようにすることが重要なのです。紙上討論を多くすれば、我々の言葉が正しく整えられるだけでなく、それが大衆の中に広く知らされます。このように用語を大衆に評論させてよい意見を集め、最後に標準にする言葉を決めて使うようにすることがいいと思います。

言葉を整える際に大衆の知恵を集めれば、よいものを産出することができます。特に、社会科学や技術科学で使う言葉のように直し難い言葉は広く討論して整えなければなりません。

我々の言葉を直す事業はあまり焦らずに、長い時間をかけて一つ一つ直して行かなければなりません。決して全ての単語を一日二日で急いで全部、我々の言葉に直すことはできません。何十、何百年間伝わってきた言葉を一朝一夕で全て直すとすれば、人々がそれを受け入れられないことは勿論のこと、直した人々自身も全て記憶することができず、全部使うこともできないと思います。この事業は、人民全体の日常的な言語生活と関連しているので、主観的な欲望だけを持ち、キャンペーン的に

することは絶対にいけません。漢字語や外来語を一挙にたくさん直そうとせずに一つ一つ直していくような殲滅戦の方法で漸次的に直して行かなければなりません。

まず、我々が常に使う言葉から正した方がいいと思います。今日、普通教育部門の学校で使う単語は5000～6000個ぐらいあるといわれていますが、まずはそれぐらいのものを整えて普及し、その次のものは先に整えておいた前のものが全部普及された後に出していかなければなりません。同志らが出した草案には一度に2万個の単語を直して出すことを予見しましたが、それはあまりにも多いです。人民がいつも使うものが5000ならば5000、一万ならば一万で決めておいてそれを先に直す方がいいです。蚕が桑を食べるように徐々に食べいく方法で直さなければ、大きな混乱が起きることになります。そのために、我々がいつも使う言葉から先に直していかなければなりません。

そして、上で言ったように軍事用語の場合、直すべきことは直さなければならぬが、今すぐ直すことは時期尚早です。軍事用語はこれからの状況をみて直さなければなりません。それを直すときにも辞典には載せずに別途に直すべきでしょう。

言葉を少しずつ計画的に直して、全ての人々が必ずそれを使うようにしなければなりません。そして、言葉に磨きを掛けて意義ある用語を作り上げなければなりません。そうせずに理解ができないものを作るならば、人々がそれを受け入れずに元の言葉をそのまま使うことになります。したがって、この事業は大変慎重にしなければなりません。

人々が我々の固有な言葉を上手く使えるようになるならば、単語本を製作しなければなりません。単語7000～8000個あるいは一万個ぐらいを載せた辞典を作り、標準と見なすならば、人々が学者を一々訪ねていなくてもいいでしょう。しかし、このような単語本は多く刷るべきではありません。

そして、同志らが学術用語集を出版すると提起しましたが、それはまだ意義あるものではないので、出版して本屋で販売せずに草案を作り、機関だけに配布しなければなりません。そうして党および国家機関でそれを当分標準として見なし、学術用語が機関から徐々に下部へ下りていくようにしなければなりません。学術用語は下部で作りに出すものでなく、中央から、内閣と省から作り出されます。だから、学術用語の草案を機関でまず5～6年あるいは10年ぐらい使いながらその間、何度も整えて作り上げていかなければなりません。

次に我々の固有な言葉を大衆の中に速やかに入っていくようにするためにはそれを教育部門、特に初等学校が先に受け入れるようにして新聞と放送でも丁度よいときに受け入れるようにしなければなりません。

現在年を取っている人々は漢字語に慣れているために普通に使う言葉も漢字語が多いです。《日常用語 (일상용어)》という言葉も《いつも使う言葉 (늘 쓰는 말)》といえはいいのに漢字語に慣れているため、そのまま使います。年を取った人は文字を書くときにも古い綴字法に慣れていて間違って書きます。

したがって、我々の言葉を上手く普及するために学校から先に始めなければなりません。学校では人民学校1年生の学生から新しく整えた我々の言葉を学ぶようにしなければなりません。我々の固有な言葉を全部活用して子どもたちに教え、子どもたちが大人の間違った言葉を直しあげるようにしなければなりません。例えば、お年寄りが《午寝 (오침)》といえは、その時に子どもたちが《昼寝 (낮잠)》と直してあげるようにしなければなりません。そして、お年寄りの人々は過去の間違った言葉を習い、漢字語に慣れてしまったことに気付いて、我々の言葉を学び、新しいものを積極的に活かすために力を注ぐべきでしょう。そのようにして我々は古いものを棄てて新しいものを受け入れる方法として我々の言葉を蘇らせなければなりません。

我々の固有な言葉を早く普及させるためには標準となる我々の言葉の草案を、教科書を作るときにも載せて、またその草案が決まる毎に教科書の用語も何年かに一度ずつ訂正していかなければなりません。標準となる我々の言葉の草案は大学にも提供して標準として見なす方がいいでしょう。そして、新聞社や放送局にも標準となる言葉の草案を提供し、使うようにしなければなりません。何年間かこのようにして行けば、過去の封建統治の輩の事大主義によって入った外来語と漢字語は少し整理されることになるでしょう。

以前、我々に事大主義が大きく作用されたので、言語学だけでなく他の部分にもその影響が少なからず及びました。

過去、平野には《箕子墓 (기자묘)⁽¹³⁾》というものがありませんでしたが、これも結局、事大主義のために生まれたものです。我々が《箕子墓 (기자묘)》をなくし、その場所に丁閣を建てておいたために、今や誰も《箕子 (기자)》を訪ねる人がいません。このような伝説の中でも事大主義による間違っことは全て直さなければなりません。

今も一部の人は事大主義を棄てることができません。ある学者は我が国の資源を研究して我々の工業を発展させることを考えずに他国に頼って生きようとします。我々は経済建設分野で事大主義に反対して主体を確立して我が国の資源で自立経済を建設する方向へ行かなければなりません。

言語学でも主体を確立して我々の言葉を体系的に発展させ、人々がそれを活かすことで民族的自負心と矜持を持つようにすべきです。

全世界が全て共産主義になるまでは人々が民族別に分かれて暮らすことが当たり前で、朝鮮人は朝鮮の地で暮らすことになるために朝鮮語を引き続いて使うことになります。だから、我々は何としてでも我々の言葉を十分に活かして発展させなければなりません。

実際、我が国の言葉は高低が明確で、音声が美しいです。我が国の発

音法を学べば、どんな国の言葉でも上手く話すことができます。ある人は漢字語と外来語を使ってこそ有識で威信があると考えますが、このような観点をなくさなければなりません。

我々は全ての人々が漢字語や外来語を使う人は民族的矜持がない人であり、自国の言葉を上手く話す人が有識で、民族的自負心が高い人だと考えるようにしなければなりません。そうして誰もが《十九歳(십구세)》と言わずに《十九歳(열아홉살)》というような言い方で自分の言葉を活かすことが文明的であるという観点を明確に持たなければなりません。それでこそ我々の言葉を活かし、発展させることができ、後代にも我々の言葉を失くさないようにその確固たる土台を用意しておくことができます。

特に古書を翻訳する学者の中で我々の言葉を活かして使うことが文明的だという観点を明確に立ておくべきです。

我が学者が古書を翻訳したのを見ると多くの漢字語をそのままにしておきました。勿論、それも我々の文字で書いていますが、漢文式という言葉のままです。このように漢字語をそのままにして置くために人々が翻訳された昔の本を読んでもよく分かりません。我が国には古書が多くありますが、それを全部漢文式に翻訳したために再び我が固有な言葉で翻訳しなければならない状況にあります。だから、青少年たちも古書をあまり読もうとしません。青少年たちは古書が読解できないが故に民族的風俗も分らずに礼節も上手く守ることができません。我々はこの問題を必ず解決しなければなりません。

我々は古い小説を現代人が読めるように現代化しなければなりません。古書を現代文化しないで、人々に漢字を教えてあげた後にそれを分らせようとするれば、さらに難しくなります。以前、『春香傳(춘향전)』を分かり易く直すようにとすると、今は少々よくなりました。他のものも全て分かり易く作らなければなりません。昔の小説だけでなく伝説集、社

会集も現代の人々が分るように現代文化にしなければなりません。そして、古い作品の話が出たついでにもう一つ言いたいのは、昔の本を用いて映画や演劇のようなものを作るときに卑俗化させてはならないということです。映画『両班傳(량만전)』は卑俗化し過ぎて面白くありません。元来、この作品はその当時の階級闘争を描いたものだが、卑俗化してしまったために、子どもたちはただ悲劇としてのみ見えています。

古書に対する翻訳は漢文知識がある人がしなければなりません。これから金大(金日成大学)に古典文学科のようなものを別に設け、賢い人を何十人ずつ受け入れて漢文だけではなく、文学も教授する方がいいと思います。彼らの学習期間は4年が短いのであれば、6年にしてもいいです。

我々にはできるだけ漢字語を使わないようにしても学生に必要な漢字は与えてそれを書く方法も教えるべきです。南朝鮮の出版物と過去の文献に漢字が少なからず使われているので人々がそれを読めるようにするには漢字をある程度教えなければなりません。

我々が学生に漢字を教えるという、どんな形式であろうとも教科書に漢字を入れてはいけません。漢字を使わないようにしようとしているのに、なぜ教科書に入れたりするのでしょうか。教科書に漢字を入れると南朝鮮のようになります。日本人のように必ず国漢文を混ぜて書かなければならないのであれば分かりますが、そうでない以上は教科書に漢字を使う必要がありません。

我々の言葉を活かして普及させることと共に、我々の文字をさらに発展させるために研究しなければなりません。

現在の我々の文字は四角い文字であるがために書くことが少々不便です。我々の文字は主に音を標準にしたために発音することはいいのですが単語の形態でできたものは違います。そうであるが故に文字が見難く、書くときに少しでも画を違うように書いてもいけないようになっていま

す。そして、我々の文字は印刷の機械化にも不利です。我々の文字を用いてタイプをすることも難しいのです。

文字を見易くするために単語を形態化して一目に見えるようにしなければなりません。勿論、漢字に欠陥もありますが、一文字ずつの意味を持ち、見易いというよい点はあります。そうだと言っても我々の文字を漢字のように直そうとしていることではありません。我々はどこまでも我々の文字を用いて我々の方法で作らなければなりません。文字を見易くするといってラテン文字を受け入れようとしてもいけません。ラテン文字にすると、我々の音声の全てを表すことができません。できる限り我々の文字を横書きにし、タイプもし易くて単語を上手く見分けることができるようにする方がいいのです。昔、我々の先祖も文字を直そうとたくさん苦勞をしました。『周時經遺稿集(주시경유고집)』で我々の文字を横書きにした例を見ると、それも悪くありません。それをもっと改善して洗練させた文字にしてみることもいいと思います。そうして文字を直した後に文字の原形はこうで、直したものはこうだと知らしめる傍ら、新しい文字も知らせるとともに元のものを見捨てることがないようにすべきです。

しかし、我々が直ちに文字を直して使おうということではありません。我が人民は一つの民族です。だから、祖国が統一する前に文字を変えてはいけません。

過去、ある者は功名心に駆られて直ちに文字改革をしようとしてきました。南北が統一されていない状況の下で文字を改革するとどうなるでしょうか。同じ民族同士、手紙を出しても理解できずに結局、我が民族が分れてしまいます。その上、文字を改革すると、科学文化の発展にも大きな支障を与えることになります。急に文字を変えると、既に分かっていた人々も一瞬にして^ㅍ文盲者になります。だからこそ我々は文字を急に改革することに反対しました。

今日、我々の科学文化が非常に発展しました。我々は技術義務教育制を今すぐ実施しようとしています、そうすれば、これから我が勤労者の全般的な技術文化の水準がさらに高まることでしょう。しかし、勤労者の技術文化の水準が幾ら高まっても祖国が統一される前には我々の文字を絶対に改革することはできません。

その通りだからといって文字を改革するための研究事業を止めることではありません。今から文字改革案を準備して成熟させなければならず、祖国が統一される前にそれを完成させるべきです。上手くいけば、直した文字を学校で少しずつ教えることもいいのでしょう。このように準備しておいてから人民の技術文化の水準がもっと高くなって祖国が統一されれば、今の四角い文字をなくし、直した新しい文字を速やかに使うようにしなければなりません。祖国の統一は、そんなに長く掛からないと思います。だから、文字を改革する準備も今からしておくべきです。

我々の言語学者は文字改革案を研究する一方、今の四角い文字を用いても見易いようにするために積極的に努力しなければなりません。元来、四角い文字を横からみるより縦で見るのがより便利なものだが、上手く研究すれば、横にして読むのにも大きな支障がないようにすることができます。

我々の文字を見易くするために分かち書きを上手く規定してあげることも重要なのです。今のように余りにも多くの分かち書きをすると読み難いのです。分かち書きが正しくされていなければ、文字を上手く読めない人は勿論のこと、そうでない人も文字を思い通りに読めません。新聞のようなものも分かち書きを間違うと読み難いのです。例えば、《人類文化(인류문화)》のようなものは、《人類(인류)》を書いてから分かち書きで《文(문)》を書き、行を変えてから《化(화)》の文字を書いておくと、《人類、文、化(인류, 문, 화)》として読むようになるので問題なのです。報告書もこのような方法で書くと誰もが読み難くなる

でしょう。

我々は今から分かち書きを上手く直して、人々の読書力を高めることができるようにしなければなりません。以前にも私が何度か話しましたが、分かち書きでは少し文字をくっつける方向へ行くべきです。仮に《社会主義建設 (사회주의건설)》と書くときに、《社会主義建設 (사회주의건설)》とくっつけて書くべきで、《社会主義 建設 (사회주의 건설)》というように分かち書きすると、読書能率が上がりません。

分かち書きを上手に規定することは我々が文章を速く読み、理解しやすくすることに大変重要な意義をもちます。したがって、分かち書きを正しく規定し、それを人々に詳しく教え、出版物でも分かち書きを正しくしなければなりません。タイピストらにも分かち書きを正しく教えるべきでなければなりません。そうしなければ、自分勝手に全て違うような分かち書きでタイプします。漢字を入れてタイプを打つならともかくそうでない以上、規定通りに読み易いように上手く分かち書きをすべきです。

分かち書きは新たに決めようとしている規定が現在使っているものよりは少し優れているようです。勿論、新しい規定にも一部欠陥があるかもしれません。しかし、そのまま使いながら不足した点を直してもっと完成させていかなければなりません。

我々の学者が作った『朝鮮語規範集 (조선말규범집)』の草案はそのまま出すのがよいと思います。子母音の数を24字にしようとする意見と40字にしようとする意見がありますが、文字を改革する前までは今まで通りの40字で使用する方がよいと思います。

我々の言葉を上手く整え、それをさらに発展させるために言語学者をもっと養成すべきです。師範大学と教員大学では履修課程の中に朝鮮語の時間をより多く設定すべきであり、学生が我々の言葉をたくさん勉強することができるようにしなければなりません。以前、姜健軍官学校⁽⁴⁾に行ってみると学生の学習に必要な資料を書き、壁に貼っておく方法で教

えていました。師範大学や教員大学のようなところでも朝鮮語と関連したものを書いて壁に貼ることが必要だと思います。

党は同志に対する非常に大きな期待をかけています。同志は我々の言葉を活かし、我々の文字を発展させるために積極的に努力することによって党の期待に立派に報いなければなりません。

(『文化語学習』1968年3号1-9)

〈「第2次金日成教示」原文〉

「조선어의 민족적특성에 옳게 살려나갈데 대하여」

언어학자들과 한 담화

1966년 5월 14일

나는 오늘 동무들에게 우리 민족어를 더욱 발전시킬데 대하여 좀 이 야기하려고 합니다. 이 문제에 대하여서는 이미 그전에도 말하기는 하였지만 다시한번 강조하려고 합니다.

우리가 늘 말하는것이지만 우리 나라는 중국, 일본, 소련과 같은 큰 나라들과과학기술이 비교적 발전된 나라들사이에 있습니다. 그리하여 지난날 우리 나라사람들가운데서 이 나라들에 대한 사대주의가 생겨났으며 이 나라들과의 정치적접촉과 경제문화적교류 과정에서 이 나라들의 말이 우리 나라에 적지 않게 들어왔습니다.

리조봉건시기에는 중국에 대한 사대주의가 심하여 그 나라의 말들이 많이 들어왔습니다. 그리하여 지금도 우리 사람들이 중국식한자말을 많이 쓰고있습니다.어느때인가 소금밭에 가보니 거기에서 쓰이는 말들은 거의다 중국식말들이었습니다. 과학기술용어 뿐만아니라 늘 쓰는 말에도 중국식표현이 많습니다. 지금 우리의 일꾼들이 《일하는 시간》이라는 말을 《사업기간》, 《공작시간》이라고하고 《낮잠》을 《오침》이라고 하는것과 같은것들이 그 전형적 실례로 될수 있습니다.

나는 지난날에 중국 광동에 가서 연극을 구경한 일이 있었는데 연극에 나오는사람들이 말하는 한자음이 우리 사람들이 쓰는 한자음과 비슷하였습니다. 그러니 우리 한자음의 많은 것이 중국 광동지방의 한자음 같은것에서 들어왔다고 할수있습니다.

지난날 일제놈들이 우리 나라를 강점한 다음에는 일본말도 많이 들어왔습니다. 그래서 지금 우리가 쓰고있는 말들가운데는 고쳐야 할 일본식말들이 적지않은것입니다. 사과이름도 일본말로 부르는것이 많습니다. 지금 우리 사람들이 《국광》이라고 부르는 사과의 이름은 일본사람들이 붙인것입니다 그 사과가 원래 일본에서 온것도 아니겠는데 이렇게 일본이름이 붙어있습니다. 《국광》뿐만아니라 《옥》이나 《축》과 같은 사과이름들도 일본사람들이 붙인것입니다.

사정은 벼이름에서도 마찬가지입니다. 지금 사람들은 《륙우 132호》요, 《중생은방주》요 하면서 일본사람들이 지어놓은 이름을 부릅니다.

심지어 일제때에 살아보지도 못한 우리의 어린이들까지도 《양복저고리》을 《우와기》라고 하고 마시는 《차》을 《오차》라고 하며 차그릇을 받치는 《차반》을 《오봉》이라고 합니다.

해방된 다음에는 로어가 들어와서 우리말에 뒤섞이려 하는것을 막았습니다.

그런데 오늘 또 우리 나라에 순수한 조선말이 아닌 중국간도지방에서 사는 조선사람들이 쓰는 중국식조선말도 들어오고 해방후에 남조선사람들이 쓰는 조선말에 영어와 일본말과 한자말이 뒤섞인 범벅이말도 들어오고 귀국동포들을 통하여 일본에서 사는 조선사람들이 하는 일본식조선말도 들어오고있습니다.

지금 중국 연변이나 북간도에서 사는 조선사람들은 《정거장》을 《화차참》이라고하고 《로동계급》을 《공인계급》이라고 한다든가 그밖에 우리가 모르는 중국식조선말들을 만들어 쓰고있습니다. 간도에는 조선사람이 한 100만명 있는데 그들이 쓰는 말들이 들어오는 것은 큰 문제가

아닙니다.

귀국동포들을 통하여 일본말이 들어오는것도 크게 문제될것이 없습니다.

문제는 남조선에서 쓰고있는 말에 있습니다. 지금 남조선신문 같은 것을 보면영어나 일본말을 섞어쓰는것은 더 말할것도 없고 한자말은 중국사람들도 쓰지 않는것까지 망탕 쓰고있습니다. 사실 남조선에서 쓰고있는 말에서 한자말과 일본말, 영어를 빼버리면 우리 말은 《을》, 《를》과 같은 토만 남는 형편입니다. 언어는 민족의 중요한 징표의 하나인데 남조선에서 쓰고있는 말이 이렇게 서양화,일본화, 한자화되다보니 우리 말 같지 않으며 우리 말의 민족적 특성이 점차 없어져가고있습니다. 이것은 참으로 위험한 일입니다. 이것을 그대로 두다가는 우리 민족어가 없어질 위험도 있습니다.

그전에 일본공산당의 한 간부와 이야기하여보니 지금 일본말도 다른 나라말과 뒤섞이고있다고 합니다. 그의 말에 의하면 일본에서는 과학이 발전하고 있기는하나 자기 민족의것은 거의 없고 미국화되고있으며 과학자체가 장사군들의 돈벌이에 리용되고있다고 합니다. 말하자면 오늘의 일본과학은 참다운 과학이 못된다는것입니다.

일본사람들이 과학발전에서 이렇게 미국본만 따다보니 영어가 많이 들어와서섞이고 일본말이 영어화되고있다고 합니다

참다운 애국자는 공산주의자입니다. 오직 공산주의자들만이 자기 나라 말을참으로 사랑하고 발전시키기 위하여 힘쓰는것입니다.

공산주의자들인 우리는 우리 말의 민족적특성을 살리고 그것을 더욱 발전시켜나가야 합니다. 공산주의자가 아니라고 하더라도 민족적관심을 가진 조선사람치고 우리 말의 민족적특성이 없어져가는 것을 좋아할 사람은 하나도 없을것입니다. 남조선에도 지주, 매판자본가, 반동관료배들을 내놓고 절대다수의 인민대중은 우리 민족을 사랑하며 우리 조국을 사랑하는 애국주의사상을 가진 사람들입니다.그러므로 그들은

다 우리 민족어의 발전을 바랄것입니다.

우리는 한자말과 외래어를 고유한 우리 말로 고치고 우리 말을 체계적으로 발전시켜나가야 하겠습니다.

고유어와 한자말이 뜻이 꼭같은 때에는 고유어를 쓰고 한자말을 쓰지 말도록하며 사전에서도 그런 한자말은 빼야합니다. 예를들어 《사전》, 《석교》같은한자말은 버리고 《뿡발》, 《돌다리》라는 우리 말을 써야 합니다. 인민들속에서 비교적 많이 쓰이고있는 한자말이라고 해도 그에 맞는 고유어가 있으면 사전에서도 빼버리고고유어를 쓰도록 하여야 합니다. 예를 들어 《하복》이란 말은비교적 많이 쓰이고있지만 《여름옷》이라고 쓸수 있는것만큼 사전에서 빼야 합니다. 이런것들까지 다듬으면 너무 많이 고친다고 의견을 받을수도 있으나 그렇게 하지 않으면 한자말을 점차 줄일수 없고 고유어를 발전시킬수 없습니다. 만일 앞으로 사전에서 빼버린 말들가운데서 인민들이 계속쓰는 것이 있으면 그것은 그때에 가서 다 시 사전에 넣도록 하면 될것입니다.

방언에서도 좋은것들을 찾아내여 써야 합니다. 우리가 지난날 빨찌산투쟁을 할 때에 안길동무는 일반적으로 함경도문화가 서울문화보다 못하다고 하지만 함경도에 조선말은 더 많다고 하면서 함경도에서는 《기차》을 《불술기》라고 하는데 그것이 좋지않은가 고 하였습니다. 그래서 나는 그에게 함경도에는 그 대신에 《비지개》나 《거르만》과 같은 외래어가 있지 않는가고 하면서 통담한 일도 있습니다.

《불술기》란 말이 얼마나 좋습니까? 물론 지금에 와서 《기차》을 《불술기》라고 고칠 필요는 없습니다. 우리가 방언들을 잘 조사해보면 지금도 쓸수 있는 좋은 우리 말이 있을것입니다.

고유어를 적극 찾아 고장이름도 우리 말로 부르도록 하여야 합니다. 우리 말로부르는 것이 한자말로 부르는것보다 더 고상 합니다. 가령 《붉은바위》을 《적암》이라는 식으로 한자말과 바꾸어 놓으면 더 좋은것이 아니라 아주 초라합니다. 지금 고장 이름을 한자말과 고유어의 두가

지로 부르는 것이 적지 않습니다. 《돌다리꼴》을 《석교동》이라고 하는 것이 바로 그런 실례입니다. 고유어로 된 고장이름들을 다 조사하여 될수록 한자말을 쓰지 않도록 하여야 하겠습니다. 우리가 이미 사회과학원에 고장이름을 조사해보라고 하였는데 그 사업이 어떻게 되고있는지 모르겠습니다. 아마 사회과학원의 힘만으로는 그 사업을 다 하기 벅찰 것 같습니다. 그러므로 내각에서 이 사업을 보장하기 위한 결정이나 명령을 하나 내려보내도록하는 것이 좋겠습니다. 앞으로 고유어로 된 고장이름을 다 조사하면 그대로 쓰게하고 지도를 다시 찍으면 됩니다. 행정구역이름도 내각결정으로 고치게 하면 될 것입니다.

우리는 이미 있는 고유어를 찾아쓸뿐 아니라 고유어로 새말을 만들어 쓰기도하여야 합니다.

물론 새말이 처음에는 쓰기 좀 어색합니다. 그러나 그것도 자꾸 써나 가면 일없습니다. 한자말이기는 하지만 《최고인민회의》라는 말에 대한 실례를 들어보겠습니다. 우리가 처음에 이 말을 만들 때 어떤 사람들은 다른 나라에서는 《국회》라고 하는데 고정기관의 이름을 《회의》라고 하면 안된다고 하였습니다. 그러나 우리는 그 말을 듣지 않고 《최고인민회의》라고 쓰기 시작하였습니다. 처음에는 그렇게 부르는 것이 어색한 것같이 생각되었으나 자꾸 써버릇하니 지금은 좋지 않습니다. 다른 말들도 필요하면 이렇게 새로 지어쓰면 됩니다.

내 생각에는 《국광》이나 《옥》, 《축》같은 이름도 그 사과가 나는 고장이름을 따서 고쳐짓는 것이 좋겠습니다. 그 사과가 어디서 가장 많이 나며 어디것이 제일 맛있는가를 참작하여 《북청》이나 《송화》라고 할 수도 있고 또는 《납포》나 《룡강》이라고 할 수도 있을 것입니다.

우리는 벼이름도 다 우리 말로 고쳐야 합니다.

지금 어떤 동무들은 사과나 벼 같은 것은 이때까지 부르던 이름에 버릇되었기 때문에 그것을 다른 이름으로 고치기 힘들다고 하는데 주저하지 말고 대담하게 고쳐야 합니다. 그런것조차 일본말이름을 그대로 두

고 앞으로 후대들에게 무엇이라고 설명하겠습니까? 지금 남조선에서 일본식한자말들을 모두 그대로 쓰고있는 형편에서 우리까지 가만히 있으면 우리 말은 정말 없어지고 말것입니다. 우리는 일본식한자말들을 대담하게 고쳐야 합니다.

지난날 우리 조상들은 사대주의병에 걸려 사람의 이름도 한자말로 지었습니다. 앞으로 어린이들의 이름은 될수록 고유어로 짓는 것이 좋겠습니다.

다른 나라들과의 과학문화교류를 통하여 새로 들어오는 외래어들은 우리 말로제때에 고쳐야 합니다. 어떤 나라나 다 과학기술이 먼저 발전한 나라를 따라가기마련입니다. 그러다보니 발전된 나라 말이 들어오게 되어 외래어가 생깁니다. 그러나 외래어도 처음 들어올 때 자기 나라 말로 고치면 됩니다. 우리나라에 《대백중》과 《씨비리북부중》이라는 쏘련돼지종자가 들어와서 《중화재래종》과교잡하여 새로운 돼지종자를 만들었을 때 우리는 그것을 《평양중》이라고 하였는데 그것이 얼마나 부르기 좋습니까? 다른것들도 이렇게 우리 말로 고치면 될것입니다.

그런데 학술용어는 너무 풀어쓰지 말아야 합니다. 새로 나오는 말들에 대하여서는 국어사정위원회에서 잘 통제하여야 하겠습니다.

한자말과 외래어를 고친다고 하여 일률적으로 고치지 말아야 합니다. 한자말이라고 하더라도 사람들에게 확고하게 인식되고 우리 말로 완전히 굳어버린것은 그냥 두어야 합니다. 레를 들어 《학교》, 《방》같은 것은 한자말이라고 보지 않아도 좋을것이며 따라서 그런 말들은 고치지 않아도 됩니다. 지금 많이 쓰이는 《법칙》이란 말을 놓고보아도 당장 고쳐줄 다른 신통한 말이 없습니다. 《갱도》라는말도 마찬가지입니다. 사회과학이나 자연과학에는 이런 말들이 많은데 그것들을고치는 것이 문제입니다.

그리고 한자말과 고유어가 뜻이 같으면서도 뜻의 폭이 꼭같지 않은 것들은 잘고려하여야 합니다. 레를들어 《지하》과 《땅속》, 《심장》과 《염

통》은 뜻이 같지만 그 폭이 다르므로 한자말과 고유어를 다 그대로 두는 수밖에 없습니다. 만일 《지하투쟁》이란 말을 《땅속투쟁》이라고 고치거나 《평양은 나의 심장》이라는 말을 《평양은 나의 염통》이라고 고치려고 해서 안 될 것입니다. 이런 한자말까지 모조리 없애버린다면 우리의 언어생활에 큰 혼란이 일어날 수 있습니다. 그러므로 고유어와 한자말이 뜻이 같다고 하더라도 구체적 경우에 따라 서로 달리 처리하여야 합니다.

군사용어는 고칠 수 있습니다. 해방된 다음에 우리가 몇 가지 군사용어들은 고쳤습니다. 《차렷》도 우리가 지어준 말입니다. 그전에 쓰던 《기척》은 일본말인데 독립군도 동북에서 이 말을 썼습니다. 홍범도도 그랬고 리범석이기도 군관학교에서 이 말로 학생들을 가르쳤습니다. 그래서 우리는 《기척》을 《차렷》로 고쳤습니다. 원래 구령은 마지막 소리가 힘이 있어야 합니다. 해방 후 우리는 구한국때와 일제 때 쓰던 구령들을 모두 고치자고 하였으나 그대로 넘어가고 말았습니다. 지금 군대에서 쓰는 말에는 한자말이 적지 않습니다.

《방독면》도 한자말이며 점수를 매길 때 쓰는 《우》, 《량》도 다 한자말입니다. 세계적으로 공통적인 군사용어라면 몰라도 그렇지 않은 것은 우리 말로 쓰는 것이 좋습니다. 군사기술용어도 세계적으로 공통적인 것을 내놓고는 우리 말로 써야 합니다.

말을 다듬는데서 단어들의 결합관계를 고려해야 할 것도 있습니다. 《일기》란 말을 레로 들어보겠습니다. 우리가 그저 《일기》라고 할 때에는 《날씨》라고 쓸 수 있으므로 그것을 없앨 수 있지만 《일기예보》와 같은 단어의 결합을 고려할 때에는 《일기》라는 말도 그대로 두어야 합니다.

우리 말을 발전시키기 위하여서는 터를 잘 닦아야 합니다. 우리는 우리 혁명의 참모부가 있고 정치, 경제, 문화, 군사의 모든 방면에 걸치는 우리 혁명의 전반적 전략과 전술이 세워지는 혁명의 수도이며 요람지인 평양을 중심지로 하고 평양말을 기준으로 하여 언어의 민족적 특성을 보

존하고 발전시켜나가도록 하여야 하겠습니다. 그런데 《표준어》라는 말은 다른 말로 바꾸어야 하겠습니다. 《표준어》라고하면 마치도 서울말을 표준하는것으로 그릇되게 리 해될수 있으므로 그대로 쓸 필요가 없습니다. 사회주의를 건설하고 있는 우리가 혁명의 수도인 평양말을 기준으로 하여 발전시킨 우리 말을 《표준어》라고 하는것보다 다른 이름으로 부르는 것이 옳습니다.

《문화어》란 말도 그리 좋은 것은 못되지만 그래도 그렇게 고쳐쓰는 것이 낫습니다.

다음으로 우리 말을 잘 다듬기 위하여서는 신문에 내어 지상토론을 하게 하여야 합니다. 언어학도 대중의 평가를 받아야 합니다. 학술용어 같은것도 신문에 한주일에 두세번쯤 내야 하며 다듬을 말을 한번에 열댓개씩 신문에 내어 대중이 평론도 쓰게 하고 질문도 내게 하여야 합니다. 다듬을 말은 중앙신문에도 내고 지방신문에도 내고 그와 반대되는 의견도 다 알려주어야 합니다. 지상토론 에서는 제기되는 의견들도 다 알려주어 많은 사람들의 지혜를 동원하도록 하는 것이 중요합니다. 지상토론을 많이 하여야 우리 말이 잘 다듬어질 뿐아니라 그것이 대중속에 널리 알려집니다. 이와 같이 용어들을 대중이 평론하게 하고 좋은 의견들을 모아 마지막에 표준으로 삼을 말을 정하여 쓰도록 하는 것이 좋습니다.

말을 다듬는데서 대중의 지혜를 모으면 좋은 것이 나올수 있습니다. 특히 사회과학이나 기술과학에 쓰는 말과 같이 고치기 힘든 말들은 널리 토론하여 다듬어야 합니다.

우리 말을 고치는 일을 빨리 서둘지말고 오랫동안 걸쳐 하나하나 해나가야합니다. 결코 모든 단어를 하루이틀 동안에 잡자기 다 우리 말로 고칠수는 없습니다. 몇십몇백년동안 내려온 말을 하루아침에 다 고친다면 사람들이 받아들이지 않을 것은 물론, 고친 사람들자신도 모두 기억하지 못하여 다 쓰지 못할것입니다. 이 사업은 전체 인민의 일상적인

언어생활과 관련되어있는것만큼 주관적욕망 만가지고 감빠니아적으로 해서는 절대로 안됩니다. 한자말이나 외래어를 단번에 많이 고치려고 하지말고 하나하나 고쳐나가는 섬멸전의 방법으로 점차적으로 고쳐나가야 하겠습니다.

먼저 우리가 늘 쓰는 말부터 바로잡아야 하겠습니다. 지금 보통교육 부문 학교들에서 쓰는 단어가 5,000~6,000개쯤 된다는데 그런 정도의 것을 먼저 다듬어 보급하고 그다음것은 다듬어놓았다가 먼저것이 다 보급된 다음에 내놓아야 합니다. 동무들이 내놓은 초안에는 단번에 2만개의 단어를 고쳐 내보낼것을 예견하였는데 그것은 너무 많습니다. 인민들이 늘 쓰는 것이 5,000이면 5,000, 만이면 만으로 정해놓고 그것부터 먼저 고치는 것이 좋습니다. 누에가 뽕 먹듯이 점차 먹어들어가는 방법으로 하여야지 그렇게 얹으면 큰 혼란이 일어날 수 있습니다. 그렇기때문에 우리가 늘 쓰는 말부터 먼저 고쳐나가야 하겠습니다.

그리고 위에서 말한대로 군사용어는 고치기는 고쳐야 하는데 지금 당장 고치는 것은 좀 이릅니다. 군사용어는 앞으로 형편을 보아서 고쳐야 합니다. 그것을고칠 때에도 사전에는 넣지 말고 따로 고쳐야 할것입니다.

말을 얼마씩 계획적으로 고치고는 모든 사람들이 반드시 그것을 쓰도록 하여야 합니다. 그러자면 말들을 잘 다듬어 파악있는 용어를 내보내야 합니다. 그렇게 하지 않고 파악이 없는 것을 내보내면 사람들이 받아들이지 않고 본래의 말을 그대로 쓸수 있습니다. 그러므로 이 사업은 아주 신중하게 하여야 합니다.

사람들이 고유한 우리 말을 잘 쓰도록 하려면 단어책을 만들어야 합니다. 단어 7,000~8,000,개나 만개쯤 들어간 사전을 만들어 표준으로 삼게 하면 사람들이 학자들을 일일이 찾아다니지 않아도 될것입니다. 그러나 이런 단어책은 많이 찍어내지 말아야 합니다.

그리고 동무들이 학술용어집을 출판하겠다고 제기하였는데 그것은

아직 파악이 없으니 출판하여 책방에서 팔게 하지 말고 초안을 만들어 기관들에만 주어야합니다. 그리하여 당 및 국가 기관들에서 그것을 얼마동안 표준으로 삼게 하여 학술용어들이 기관에서부터 점차 아래에 내려가도록 하여야 합니다. 학술용어는 아래에서 지어 내는 것이 아니라 중앙에서, 내각과 성에서 지어 내려보냅니다. 그러므로 학술용어초안을 기관들에서 먼저 5~6년이나 10년쯤 써보면서 그동안 자꾸 다듬어 내 보내도록 하여야 합니다.

다음으로 고유한 우리 말들을 대중속에 빨리 들어가게 하기위하여서는 그것을 교육부분, 특히 초등학교에서부터 먼저 받아들이게 하며 신문과 방송에서도 제때에 받아들이도록 하여야 합니다.

지금 나이많은 사람들은 한자말에 버릇되었기 때문에 보통 쓰는 말도 한자말을 많이 씁니다. 《일상용어》라는 말도 《늘 쓰는 말》이라고 하면 되겠는데 한자말에 버릇되다보니 그대로 씁니다. 나이많은 사람들은 글을 쓸 때에도 낡은 맞춤법에 버릇되어 잘못 씁니다.

그러므로 우리 말을 잘 보급하려면 학교에서부터 시작하여야 합니다. 학교에서는 인민학교 1학년 학생들부터 새로 다듬은 우리말을 배우도록 하여야 합니다. 고유한 우리 말들을 다 살려 어린이들에게 가르쳐주어 그들이 어른들의 틀린말을 고쳐주도록 하여야 합니다. 가령 늙은이들이 《오침》이라고 하면 어린이들이 제때에 《낮잠》이라고 고쳐줄 수 있도록 하여야 합니다. 그리고 나이많은 사람들은 지난날 말을 잘못 배워 한자말에 버릇되었다는 것을 깨닫고 우리말을 배우고 새것을 적극 살리기 위하여 힘써야 할것입니다. 그리하여 우리는 낡은 것을 버리고 새것을 받아들이는 방법으로 우리말을 되살려나가야 합니다.

고유한 우리말을 빨리 보급하기 위하여서는 표준할 우리 말 초안을 교과서를 만들 때에도 쓰게하며 그 초안이 정해지는데 따라 교과서의 용어도 몇해에 한번씩 고쳐나가도록 하여야 합니다. 표준할 우리 말 초안은 대학에도 주어 표준으로 삼게 하는것이 좋습니다. 그리고 신문사

나 방송국에도 표준할 말 초안을 주어쓰도록 하여야 합니다. 몇해동안 이렇게 해나가면 지난날 봉건통 치배들이 사대주의를 하여 들어온 외래어와 한자말들이 좀 정리될 수 있을것입니다.

지난날의 우리 사람들에게 사대주의가 많이 작용하다보니 언어 학뿐 만아니라 다른 부분에서도 그 영향이 적지 않게 미쳤습니다.

지난날 평야에는 《기자묘》라는 것이 있었는데 이것도 결국 사대주의 때문에 생긴것입니다. 우리가 《기자묘》을 없애고 그자리에 정각을 지어놓으니 지금은 누구도 《기자》을 찾는 사람이 없습니다. 이러한 전설 들가운데서도 사대주의로하여 잘못된 것은 다 고쳐야 합니다.

지금도 일부 사람들은 사대주의를 버리지 못하고있습니다. 어떤 학자들은 우리 나라의 자원을 연구하여 우리의 공업을 발전시킬 생각은 하지 않고 다른 나라에 붙어살려고 합니다. 우리는 경제건설분야에서 사대주의를 반대하고 주체를 세워 우리 나라의 자원으로 자립경제를 건설하는 방향으로 나가야 합니다.

언어학에서도 주체를 세워 우리 말을 체계적으러 발전시키며 사람들이 그것을 쓰는데서 민족적자부심과 긍지를 가지도록 하여야 하겠습니까.

온 세계가 다 공산주의로 되기까지는 사람들이 민족별로 갈라져 살기 마련이며 조선사람은 조선땅에서 살게 될것이므로 조선말을 계속 쓰게 될 것입니다. 그러므로 우리는 어떻게 해서든지 우리 말을 잘 살리고 발전시켜야 합니다.

사실 우리 나라 말은 높고낮음이 똑똑하고 말소리가 아름답습니다. 우리 나라말음법을 배우면 아무 나라 말도 다 잘할수 있습니다. 어떤 사람들은 한자말과 외래어를 써야 유식하고 위신있는것으로 생각하는데 이런 관점을 버려야 합니다.

우리는 모든 사람들이 한자말이나 외래어를 쓰는 사람은 민족적 긍지가 없는 사람이고 자기 나라 말을 잘하는 사람이 유식하고 민족적자

부심이 높은 사람이라고 생각하도록 하여야 합니다. 그리하여 누구나 다 《십구세》라고 하지 않고 《열아홉살》이라고 하는 식으로 자기말을 살리는 것이 문명하다는 관점을 똑똑히 가지게 하여야 합니다. 그래야 우리 말을 살리고 발전시킬수 있으며 후대 들에게도 우리 말을 잃지 않도록 그 토대를 잘 마련하여줄수 있습니다.

특히 옛날책을 번역하는 학자들속에서 우리 말을 살려쓰는 것이 문명하다는 관점을 똑똑히 세워야 합니다.

우리 학자들이 옛날책을 번역한 것을 보면 많은 한자말을 그대로 두었습니다. 물론 그것도 쓰기는 우리 글로 썼지만한문식말 그대로입니다. 이렇게 한자말을 그대로 두기 때문에사람들이 번역된 옛날책들을 보고도 잘 알지 못합니다. 우리나라에서는 옛날책이 많은데 그것을 다 한문식으로 번역하였기 때문에 다시 고유한 우리 말로 번역하여야 할 형편에 있습니다.그러니 청소년들도 옛날책을 잘 읽으려 하지 않습니다. 청소년들이옛날책을 읽지 못하다보니 민족적풍속도 모르고례절도 잘 지킬줄모릅니다. 우리는 이 문제를 꼭 풀어야 하겠습니까.

우리는 옛날소설들을 현대사람들이 볼수 있도록 현대화하여야 하겠습니까. 옛날책들을 현대화하지 않고 사람들에게 한자를 가르쳐주어가지고 그것을 알게 하자면 어렵습니다. 그전에 『춘향전』을알기 쉽게 고치라고 하였더니 지금은 좀 나아졌는데 다른것들도다 알기 쉽게 만들어야 합니다. 옛날소설뿐만 아니라 전설집, 사회집도 현대사람들이 알수 있도록 현대화하여야 합니다. 그리고 옛날작품이야기가 나왔던김에 한가지 더 말할 것은 옛날책을 가지고 영화나 연극 같은것을 만들 때에는 비속화하지 말아야한다는것입니다. 영화 『랑반전』은 지내 비속화되어서 재미없습니다. 원래 이 작품은 그때 당시의 계급투쟁을 그린것인데 비속화하다보니 아이들이 그저 희극으로만 보고있습니다.

옛날책에 대한 번역은 한문지식이 있는 사람을 시켜야 합니다. 앞으로 김대에 고전문학과와 같은 것을 따로 내오고 똑똑한 사람들을 몇십

명씩 받아서 한문을 가르쳐주며 또 문학도 가르쳐주도록 하는 것이 좋겠습니다. 그들의 학습기간 4년이 짧으면 6년으로 해도 좋습니다.

우리는 한자말을 될수록 쓰지 않도록 하면서도 학생들에게 필요한 한자는 대주고 그것을 쓰는 법도 가르쳐야 합니다. 남조선출판물과 지난날의 문헌들에 한자기 적지 않게 있는것만큼 사람들이 그것을 읽을 수 있게 하려면 한자를 어느정도 가르쳐주어야 합니다.

우리가 학생들에게 한자를 가르쳐준다고 하여 어떤 형식으로든지 교과서에 한자를 넣어서는 안됩니다. 한자를 쓰지 말자고 하는데 왜 교과서에 그것을 넣겠습니까? 교과서들에 한자를 넣으면 남조선모양으로 됩니다. 일본사람들처럼 국한문을 반드시 섞어쓰지 않고는 안된다면 모르겠지만 그렇지 않은 이상에는 교과서에 한자를 쓸 필요가 없습니다.

우리 말을 살려 보급하는것과 함께 우리 글을 더욱 발전시키기 위하여 많이연구하여야 하겠습니다.

지금의 우리 글자는 네모난 글자이기 때문에 쓰기가 좀 불편합니다. 우리 글자는 주로 음을 표준으로 삼았으므로 발음하기는 좋지만 단어 형태로 된 것은 아닙니다. 그렇기 때문에 글이 보기가 좀 어렵고 쓸 때에 조금만 획을 달리 써도 안되게 되어있습니다. 그리고 우리 글자는 인쇄의 기계화에도 불리합니다. 우리 글자를 가지고 타자를 하기도 힘들습니다.

글을 보는데 험하게 하려면 단어를 형태화하여 한눈에 환히 안겨오도록 하여야 합니다. 물론 한자가 결합도 있지만 매 글자가 뜻을 가지고 눈에 안겨오는 좋은 점은 있습니다. 그렇다고 하여 우리 글을 한자 모양으로 고치자는 것은 아닙니다. 우리는 어디까지나 우리 글자를 가지고 우리 식으로 만들어야 합니다. 글을보기 쉽게 만든다고 하여 라틴문자를 받아들이려고 하여도 안됩니다. 라틴문자로하면 우리말소리를 다 나타낼수 없습니다. 될수 있는대로 우리 글자를 가로 풀어서 타자하

기도 쉽고 단어를 잘 알아볼수 있도록 하는 것이 좋습니다. 옛날 우리 선조들도 글을 고치려고 애를 많이 썼습니다.『주시경 유고집』에서 우리의 글을 풀어서 가로 쓴 례를 보니 그것도 나쁘지 않습니다. 그것을 더 고치고 세련시켜보는것도 좋을 것 같습니다. 그리하여 글자를 고친 다음에 글자원형은 어떻게 고친것은 어떻다고 알려주어 새 글자도 알게 하는것과 함께 본래의것을 내던지는일이 없도록 하여야 합니다.

그러나 우리가 글자를 고쳐서 당장 쓰자는 것은 아닙니다. 우리 인민은 하나의민족입니다. 그러므로 조국이 통일되기전에 글자를 고쳐써서는 안됩니다.

지난날에 어떤자는 공명심에 사로잡혀 글자개혁을 당장 하자고 하였습니다.남북이 통일되지 못하였는데 글자를 개혁하면 어떻게 되겠습니까? 같은 민족끼리 편지를 하여도 알수 없게 되고 결국 우리 민족이 갈라지고말것입니다. 또한글자를 개혁하면 과학문화의 발전에도 큰 지장을 줄수 있습니다. 갑자기 글자를바꾸면 이미 글을 알고 있던 사람들도 단꺼번에 다 문맹자가 될것입니다. 그렇기때문에 우리는 글자를 갑자기 개혁하는 것을 반대하였습니다.

오늘 우리의 과학문화가 매우 발전하였습니다. 우리는 기술의무교육제를 당장 실시하려고 하는데 그러면 앞으로 우리 근로자들의 전반적인 기술문화수준이 더욱 높아질것입니다. 그러나 근로자들의 기술문화수준이 아무리 높아져도 조국이 통일되기전에는 우리 글자를 절대로 개혁할수 없습니다.

그렇다고 하여 글자를 개혁하기 위한 연구사업을 그만두라는 것은 아닙니다.지금부터 글자개혁안을 준비하여 성숙시켜야 하며 조국이 통일되기전에 그것을완성하여야 합니다. 잘되면 고친 글자들을 학교에서 조금씩 가르치게 하는것도좋습니다. 이렇게 준비하였다가 인민들의 기술문화수준이 더욱 높아지고 조국이 통일되면 지금의 네모글자를 없애고 인차 고친 새 글자를 쓸수 있도록 하여야합니다. 조국통일이 그렇게

오래 걸리지는 않을것입니다. 그러므로 글자를 개혁할 준비도 지금부터 하여야 합니다.

우리의 언어학자들은 글자개혁안을 연구하는 한편, 지금의 넓적글자를 가지고도 보기 험하도록 하기 위하여 적극 힘써야 합니다. 원래 넓적글자를 가로보는 것보다 내리보는 것이 더 편리하게 된것이지만 다만 연구하면 가로읽는데 큰 지장이 없게 할수 있습니다.

우리 글을 보기 험하게 하려면 띄여쓰기를 잘 규정하여주는 것이 중요합니다. 지금처럼 너무 많이 띄여쓰면 읽기 험습니다. 띄여쓰기가 잘 되어있지 않으면 글을 잘 읽지 못하는 사람은 말할것도 없지만 그렇지 않은 사람도 글을 제대로 읽지 못합니다. 신문 같은것도 띄여쓰기를 잘 못하면 읽기 어렵습니다. 예를 들어 《인류문화》같은 것은 《인류》을 쓰고 띄여서 《문》을 쓰고는 줄을 바꾸어서 《화》자를 써놓으면 《인류, 문, 화》로 읽게 되니 문제입니다. 보고서도 이런 식으로 쓰면 누구나 다 읽기 험들어할것입니다.

우리는 앞으로 띄여쓰기를 잘 고쳐 사람들의 독서력을 올릴수 있도록 하여야하겠습니다. 내가 그전에도 몇번 이야기하였지만 띄여쓰기에서는 글자들을 좀 붙이는 방향으로 나가야 합니다. 가령 《사회주의건설》이라고 쓸 때에 《사회주의건설》이라고 붙여써야지 《사회주의 건설》이라고 띄여쓰면 독서능률이 오르지않습니다. 띄여쓰기를 잘 규정하는 것은 우리 글을 빨리 읽고 쉽게 리해하게 하는데서 아주 중요한 의의를 가집니다. 그러므로 띄여쓰기를 옳게 규정하고 그것을사람들에게 잘 가르쳐주며 출판물에서도 띄여쓰기를 잘하여야 하겠습니다. 타자수들에게도 띄여쓰기를 잘 가르쳐주어야 합니다. 그렇게 하지 않으면 제멋대로다 다르게 띄여칩니다. 한자를 넣어서 타자를 치면 몰라도 그렇지 않은 이상 규정대로 읽기 편리하게 잘 띄여치도록 하여야 합니다.

띄여쓰기는 새로 정하려는 규정이 지금 쓰는것보다는 좀 나은 것 같습니다. 물론 새 규정에도 일부 결함들이 있을 수 있습니다. 그러나 그

것대로 쓰면서 부족점을 고쳐 더 완성하여나가도록 하여야 하겠습니다.

우리 학자들이 만든『조선말규범집』초안은 그대로 내보내는 것이 좋을 것 같습니다. 자모의 수를 24자로 하자는 의견과 40자로 하자는 의견이 있는데 글자를개혁하기전까지는 지금처럼 40자로 쓰는 것이 좋겠습니다.

우리 말을 잘 다듬고 그것을 더욱 발전시키기 위하여 언어학자들을 더 길러내야 하겠습니다. 사범대학과 교원대학들에서는 과정안에 조선말시간을 더 넣어야하며 학생들이 우리 말을 많이 공부할수 있도록 하여야 합니다. 그전에 강건군관학교에 가보니 학생들의 학습에 필요한 자료들을 써서 벽에 붙여놓고 가르치고 있었습니다. 사범대학이나 교원대학 같은데서도 조선말과 관련된것들을 써서 벽에 붙이는 것이 필요할것입니다.

당은 동무들에 대한 기대가 매우 큽니다. 동무들은 우리 말을 살리고 우리 글을 발전시키기 위하여 적극 노력함으로써 당의 기대에 훌륭히 보답하여야 할 것입니다.

(『문화어학습』, 1968년 3호, 1-9)

註

- (1) 拙稿「韓国における文字政策—漢字教育の変遷について—」『語研紀要』第32巻第1号、愛知学院大学、2007年、pp. 173-201.
「北朝鮮における文字政策—漢字廃止と漢字教育の現状—」『語研紀要』第33巻第1号、愛知学院大学、2008年、pp. 113-138.
- (2) 拙稿「北朝鮮における言語政策—『第1次金日成教示』の全文翻訳—」『語研紀要』第35巻第1号、愛知学院大学、2010年、pp. 171-198.
- (3) 北朝鮮では金日成がいうことを「教示」といい、金正日がいうことを「指摘」と言う。

- (4) 김민수의 『김정일 시대의 북한언어』 태학사, 1997.
- (5) 拙稿「北朝鮮における言語政策—『文化語』を手掛かりに—」『語研紀要』第34巻第1号、愛知学院大学、2009年、p. 93.
- (6) 1907年、石黒岩次郎が富山で育成した稲の品種。
- (7) 1945年8月15日の終戦のこと、植民地時代からの解放を意味する。
- (8) 購買者・買付商の意で、清末以降、中国にある外国商館・領事館などが、中国商人との取引の仲介手段として雇用した中国人のこと。中華人民共和国の成立で消滅する。今は外国資本への奉仕によって利益を得、自国の利益を抑圧するものとして使われる。
- (9) 安吉(안길)(1907~1047)は咸鏡北道の慶源で出生し、独立運動家として活躍する。1927年朝鮮共産党に入党し活動するが、解放後は北朝鮮に帰ってから平安南道の党責任秘書を歴任するなどの活躍をする。
- (10) この言葉は朝鮮固有語で語源は定かではないが「考えや思いなどを入れる器」という意味としての「念桶」であるとの説がある。
- (11) 洪範圖(홍범도)(1868~1943)は、平安南道の陽徳で出生する。独立運動家として満州地域などで活躍しながら「大韓独立軍団」の副総裁まで歴任する。
- (12) 李範奭(리범식)(1900~1972)は、ソウル出身の独立運動家として活躍する。解放後は韓国で「国民の党」を結成するなど、政治家として活躍する。
- (13) 平壤市箕林里にある墓。『高麗史』「禮志」には1102年10月に箕子を記念するための神祠をたて祭祀を行うことに対する内容が記録されている。現在「箕子墓」に対しての説は根拠が低いとされている。
- (14) 姜健(강건)(1918~1950)は、慶尚北道の尚州出生、独立運動家として活躍する。1933年金日成抗日遊撃隊に入り、1946年人民軍の創設にも参加している。1948年労働党中央委員会および最高人民会議の第1期代議員を歴任する。

参考文献

- 김일성 「조선어를 발전시키기 위한 몇가지 문제」 『문화어학습』 1968・2 (金敏洙、1985、재수록)
- 김민수의 『김정일 시대의 북한언어』 태학사、1997
- 金敏洙 『北韓의 國語研究』 高麗大學出版社、1985

- 『북한의 조선어학사』 녹진, 1991
- 文嬉眞 「韓国における文字政策」 『語研紀要』 第32卷、愛知学院大学、2007
- 「北朝鮮における文字政策」 『語研紀要』 第33卷、愛知学院大学、2008
- 「北朝鮮における言語政策」 『語研紀要』 第34卷、愛知学院大学、2009
- 「北朝鮮における言語政策」 『語研紀要』 第35卷、愛知学院大学、2010
- 大阪外国語大学朝鮮語研究室編 『朝鮮語大辞典』 上・下、角川書店、1986
- 한글학회 『우리말큰사전』 어문각、1992
- 고려언어연구원 『조선말 련관어대사전』 흥룡강조선민족출판사、2007